



2021年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月12日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 7614 URL <http://www.om2.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03(5405)9541
 四半期報告書提出予定日 2020年6月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	7,710	6.6	486	78.4	546	80.8	345	67.2
2020年1月期第1四半期	7,235	△1.4	272	△19.3	302	△6.7	206	17.7

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 295百万円 (60.8%) 2020年1月期第1四半期 183百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	51.22	—
2020年1月期第1四半期	30.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年1月期第1四半期	17,136	13,405	78.2	1,989.95
2020年1月期	16,471	13,285	80.7	1,967.93

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 13,405百万円 2020年1月期 13,285百万円

・ 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2021年1月期	—	—	—	—	—
2021年1月期（予想）	—	0.00	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△3.2	1,120	5.1	1,270	2.5	700	3.1	103.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期1Q	7,335,634株	2020年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2021年1月期1Q	598,953株	2020年1月期	584,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期1Q	6,743,481株	2020年1月期1Q	6,751,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、それまでの緩やかな景気改善の流れが一変し、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大が我が国へも波及する事態となったため、国民生活の様々な面への負の影響が深刻となり、戦後最悪ともいえる景気悪化が懸念される状態となっております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であることから、大部分の店舗での営業は継続されたものの、商業施設等の一部店舗の休業や営業時間の短縮など負の影響も発生し、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、物流費の増加等に加え、更に不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関わる様々な要請に応えるとともに、従業員の健康と安全管理の徹底を最優先したうえで、雇用を維持しお客様のニーズに応えるべく様々な施策を実行しております。小売部門においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

外食事業にあっては、3月に至り、特に大型商業施設の一斉休業から複数の店舗で休業となり、その後首都圏店舗を中心に多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりました。その間、今後の営業再開を目指し、様々な感染症拡大予防への対策を準備するとともに、デリバリー需要の獲得など新たなサービスや付加価値を提供していけるよう推進しております。尚、本提出日の2020年6月12日現在、外食事業の全店で営業時間の短縮はあるものの営業を再開しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高77億10百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は4億86百万円（同78.4%増）、経常利益は5億46百万円（同80.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億45百万円（同67.2%増）となりました。

「食肉等の小売業」

当第1四半期連結累計期間の開店はなく、閉店は2店であり、その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は143店になりました。内訳は食肉小売店128店（前期末比1店減少）、惣菜小売店15店（同1店減少）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、新型コロナウイルス感染症対策での外出自粛等により家庭需要が増大したことなどから、売上高は58億88百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は5億79百万円（同101.1%増）となりました。尚、本事業を管轄する子会社(株)オーエムツーミートの当第1四半期連結累計期間は2020年2月1日～2020年4月30日となっております。

「外食業」

当第1四半期連結累計期間の開閉店はなく、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は48店になりました。売上高は18億86百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は21百万円（同74.2%減）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第1四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーダイニング(ステーキレストラン事業) 2019年12月1日～2020年2月29日

(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業) 2020年1月1日～2020年3月31日

よって新型コロナウイルス感染症関連影響は当第1四半期連結累計期間においては比較的軽微であり、今後第2四半期以降に具現化されることとなります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	113億80百万円（前期末比+7.1%）
固定資産	57億55百万円（同△1.6%）
総資産	171億36百万円（同+4.0%）
流動負債	32億94百万円（同+20.1%）
固定負債	4億36百万円（同△1.2%）
純資産	134億5百万円（同+0.9%）
負債・純資産合計	171億36百万円（同+4.0%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月12日の決算短信で公表致しました2021年1月期連結業績予想の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらす連結業績に与える影響が小売事業と外食事業に相反する影響を与えていることなどから、現時点において合理的に算定することが困難であるため変更しておりません。今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,212,999	8,923,580
受取手形及び売掛金	386,751	242,260
テナント未収入金	1,301,445	1,369,070
商品及び製品	404,378	433,146
原材料及び貯蔵品	37,627	39,081
未収入金	164,176	235,067
その他	118,410	139,470
貸倒引当金	△952	△711
流動資産合計	10,624,837	11,380,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,679,527	3,642,434
減価償却累計額	△1,922,014	△1,948,958
建物及び構築物(純額)	1,757,512	1,693,475
機械装置及び運搬具	429,094	433,166
減価償却累計額	△279,975	△287,551
機械装置及び運搬具(純額)	149,119	145,614
土地	527,407	527,407
その他	1,896,330	1,901,762
減価償却累計額	△1,429,361	△1,464,589
その他(純額)	466,968	437,172
減損損失累計額	△601,981	△592,659
有形固定資産合計	2,299,025	2,211,010
無形固定資産		
	108,924	108,256
投資その他の資産		
投資有価証券	2,028,601	2,004,121
長期貸付金	56,339	53,666
退職給付に係る資産	117,788	118,213
繰延税金資産	164,464	199,819
敷金及び保証金	1,049,206	1,039,821
その他	35,303	34,043
貸倒引当金	△13,195	△13,195
投資その他の資産合計	3,438,509	3,436,491
固定資産合計	5,846,459	5,755,758
資産合計	16,471,297	17,136,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,621,081	1,969,167
未払金	345,974	326,896
未払法人税等	161,591	200,350
賞与引当金	69,452	151,907
その他	545,766	646,381
流動負債合計	2,743,866	3,294,702
固定負債		
退職給付に係る負債	38,450	39,163
役員退職慰労引当金	64,752	65,673
資産除去債務	261,493	258,889
その他	76,860	72,634
固定負債合計	441,557	436,360
負債合計	3,185,423	3,731,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	11,880,254	12,063,615
自己株式	△576,698	△590,012
株主資本合計	13,162,254	13,332,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,370	64,648
退職給付に係る調整累計額	18,248	8,711
その他の包括利益累計額合計	123,618	73,360
純資産合計	13,285,873	13,405,662
負債純資産合計	16,471,297	17,136,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
売上高	7,235,260	7,710,823
売上原価	4,281,065	4,577,221
売上総利益	2,954,194	3,133,602
販売費及び一般管理費	2,681,492	2,647,116
営業利益	272,702	486,485
営業外収益		
受取利息	239	225
受取配当金	840	840
持分法による投資利益	129	30,591
家賃収入	2,600	1,023
協賛金収入	20,230	19,880
受取手数料	244	229
その他	5,366	7,456
営業外収益合計	29,651	60,246
営業外費用		
支払利息	17	54
不動産賃貸原価	81	80
その他	160	371
営業外費用合計	259	506
経常利益	302,094	546,225
特別利益		
受取補償金	31,200	3,220
特別利益合計	31,200	3,220
特別損失		
有形固定資産除却損	3,053	350
減損損失	—	8,954
店舗閉鎖損失	—	10,370
店舗休止等損失	—	5,177
特別損失合計	3,053	24,853
税金等調整前四半期純利益	330,241	524,592
法人税、住民税及び事業税	130,444	212,672
法人税等調整額	△6,828	△33,469
法人税等合計	123,615	179,203
四半期純利益	206,625	345,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	206,625	345,389

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	206,625	345,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,557	△12,342
退職給付に係る調整額	646	△515
持分法適用会社に対する持分相当額	△28,300	△37,400
その他の包括利益合計	△23,096	△50,258
四半期包括利益	183,528	295,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,528	295,131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループの属する業界について、新型コロナウイルス感染症により今後も営業活動に影響があるものと見込んでおります。ただ、このような状況は、2020年末に向けて徐々に正常化し、2021年より新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の状況に概ね戻ると仮定し、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、収束遅延により影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年2月1日 至2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,220,549	2,014,711	7,235,260	—	7,235,260
セグメント間の内部売上高又は 振替高	40,542	12,966	53,508	△53,508	—
計	5,261,091	2,027,677	7,288,768	△53,508	7,235,260
セグメント利益	288,432	84,651	373,084	△100,381	272,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△100,381千円は、セグメント間取引消去△39,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△61,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,835,758	1,875,065	7,710,823	—	7,710,823
セグメント間の内部売上高又は 振替高	53,064	11,464	64,528	△64,528	—
計	5,888,822	1,886,530	7,775,352	△64,528	7,710,823
セグメント利益	579,976	21,859	601,836	△115,351	486,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△115,351千円は、セグメント間取引消去△51,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△63,637千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。